

## 令和4年度 放射線の健康影響に係る研究調査事業一覧

テーマ1： 健康管理に資する線量評価に関する研究

テーマ2： 事故に係る身体面・心理面の健康影響及びそのメカニズムに関する研究

テーマ3： 事故による放射線不安への対策に資する研究

テーマ1・2： テーマ1とテーマ2をまたがる研究

テーマ2・3： テーマ2とテーマ3をまたがる研究

番号	年数	テーマ	研究者名	所属	研究課題名
1	1	1	佐藤 雄飛	公益財団法人 環境科学技術研究所	陸・水圏植物における有機結合型トリチウム(OBT)生産速度の網羅的把握
2	1	1	吉田 浩子	東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター	大熊町など福島第一原発に近い地域の住家における掃除による屋内放射性物質の低減効果
3	1	1	高原 省五	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 安全研究・防災支援部門 安全研究センター	原子力事故後の居住環境における室内外の物質移行を考慮した住民の被ばく線量評価に関する研究
4	1	1	佐々木 啓一	東北大学大学院歯学研究科	乳歯を用いた福島県在住小児の被ばく線量評価事業
5	1	2	笹谷 めぐみ	広島大学 原爆放射線医科学研究所	放射線発がんとそれに起因するゲノム変異(放射線の爪あと)を高感度に検出できるマウスを用いた、低線量・低線量率放射線発がんリスク評価研究とそのメカニズム解明
6	1	2	今岡 達彦	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 放射線医学研究所	低線量率放射線発がんリスクの予測モデル構築及び遺伝的素因に関する基礎的研究
7	1	2	中島 裕夫	大阪大学 放射線科学基盤機構	セシウム137による慢性的低線量内部被ばくマウスの体細胞・生殖細胞におけるDNA塩基配列への影響ー全ゲノム解析による継世代影響の統計解析ー
8	1	2	飯塚 大輔	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 放射線医学研究所	低線量被ばくによる発がん高感受性臓器のがんに至る細胞動態解明
9	1	3	宇野 賀津子	公益財団法人 ルイ・パストゥール医学研究センター	3.11以降Twitter上で交わされた放射線関連情報の解析を基に、住民の深層不安払拭のための科学的情報発信サイトの立ち上げとその評価
10	1	3	前田 正治	福島県立医科大学 医学部	原発事故被災地への移住・定住者に対するウェルビーイング形成の支援フレームワークに関する研究
11	1	3	五月女 康作	福島県立医科大学 保健科学部	福島県外のライフイベントを迎える世代に向けた放射線リスクコミュニケーションモデルの構築と実践
12	1	3	江口 有一郎	医療法人ロコメディカル ロコメディカル総合研究所	ソーシャルマーケティング手法および行動科学・行動経済学的手法を用いた放射線の健康影響や自然災害等に対する最適な意思決定の促進および不安・誤解・偏見・差別解消のための方策の解明
13	1	3	竹西 亜古	兵庫教育大学大学院	放射線イングループ・リスクコミュニケーターの育成に向けた双方向リスクコミュニケーションゲームの開発と検証
14	1	3	新井 知大	駒澤大学 医療健康科学部	診療放射線技師を対象とした放射線災害時におけるリスクコミュニケーションについての研修の体系化及び放射線災害時における診療放射線技師を活用した支援体制の構築に関する調査研究
15	1	1・2	数藤 由美子	国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 放射線医学研究所	FISH解析法による低線量被ばく評価に向けた基盤構築
16	1	2・3	小島 祥敬	福島県立医科大学 医学部	福島県内における東日本大震災前後の停留精巣患者数の実態調査
17	2	1	栗原 治	国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 放射線医学研究所	個人避難行動及び大気拡散シミュレーションに基づく福島第一原発事故における住民の初期内部被ばく線量推定の精緻化に関する研究
18	2	1	細田 正洋	国立大学法人弘前大学 大学院保健学研究科	浜通り地域を対象とした帰還住民の天然および人工放射性核種からの被ばく線量調査

19	2	2	権藤 洋一	東海大学 医学部	低線量長期被ばくマウスおよび細胞の超高感度変異検出に基づく放射線影響と変異誘発機構の解析
20	2	2	臺野 和広	国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門放射線医学研究所	被ばくの分子指標を用いた低線量・低線量率放射線によるがんリスクの直接評価
21	2	2	吉岡 研一	国立がん研究センター研究所	放射線による“ゲノム不安定性・がん”のリスク上昇メカニズムと、リスク診断法・制御法の研究
22	2	2	祖父江友孝	大阪大学大学院	福島県内外での疾病動向の把握に関する調査研究
23	2	2	鈴木 啓司	長崎大学 原爆後障害医療研究所	ゲノム変異シグネチャー解析で紐解く低線量放射線の発がん寄与割合とメカニズム
24	2	3	田中 健次	国立大学法人 電気通信大学 大学院	セカンドプレイスでの放射線リスクコミュニケーションの実現
25	2	3	平井 啓	大阪大学大学院	放射線に対する恐怖・不安により生じる 行動のメカニズムと心理学・行動経済学的制御に関する研究
26	2	1・2	盛武 敬	量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 放射線医学研究所	複数の生物学的指標を組み合わせた長期放射線影響の予測と社会実装に向けた取り組み
27	3	1	吉村 和也	日本原子力研究開発機構 福島研究開発部門 廃炉環境国際共同研究センター	市街地の空間線量率の経時変化に対する人為的な影響に関する研究
28	3	1	小林 光	東北大学 大学院工学研究科	人工被覆面の放射能深度分布調査及び空間線量率への影響に関する研究
29	3	2	大平 哲也	福島県立医科大学 医学部	原子力発電所事故後の避難住民・帰還住民における健康寿命に関わる震災関連要因とそのメカニズムについての疫学研究
30	3	2	坪倉 正治	福島県立医科大学 医学部	原発事故後10年間における地域住民の二次的健康影響の総括、および今後の医療・介護ニーズの推定に関する研究
31	3	2	光武 範吏	長崎大学 原爆後障害医療研究所	ロングリード解析を用いた放射線刻印の同定と福島小児甲状腺癌への応用
32	3	3	高村 昇	長崎大学 原爆後障害医療研究所	大熊町、富岡町におけるリスクコミュニケーションを通じたリスク認知、メンタルヘルスの経時的変化の評価
33	3	3	小杉 素子	静岡大学学術院	メンタルモデル比較を用いた放射線リスク情報の提供と対話方法の提案